

“奥ゆきのある女”をかなえる「セルヴォーク」メイク誕生

Brand Concept

“全ての女性に 溶け込む 洗練モードを追求”

田上陽子／Celvokeブランドディレクター

マッシュビューティーラボは、これまで展開してきたオーガニックブランドを通して、先進のテクノロジーを用いたスキンケアブランド「Celvoke(セルヴォーク)」を2016年秋デビューさせ、業界内外で話題を呼んだ。椋林裕貴・副社長は、「今後オーガニック&ナチュラルコスメ市場で、さらなる効果感や仕上がり、ファッション性を求めている時代が来る。そう感じ、このタイミングでブランドをデビューさせるに至った」と話す。それから約5カ月後の17年3月16日、「セルヴォーク」から、メイクアップラインが誕生する。田上陽子ブランドディレクターが、メイクアップラインに込めた思いを語った。

開発するに当たり、思い浮かべたイメージは、芯の強さや洗練された雰囲気を持ちつつも、女性ならではの柔らかさや色っぽさを秘めている「奥ゆきのある女」。そんな、カッコよさを嫌味なくもとえる軽やかな女性が思わず手にとりたくなるメイクアイテムがあったら……と。その構想を実現すべく、クリエイティブアドバイザーに迎えたのが、菊地美香子メ



PROFILE: PR会社で数多くの美容系クライアントを担当した後、マッシュビューティーラボに入社。2013年に「Organic is Sexy」をコンセプトにするオーガニックビューティブランド「エッフェオーガニック」を立ち上げる

イクアップアーティスト。菊地メイクアップアーティストとの思いは同じ。メイクをしたとき、メイク感が際立つのではなく、その人の魅力がより際立つものであるべきということ。そして、パッケージは女性像を連想させるブラック(自信、意志)＋透け感(抜け感、余裕)＝「奥ゆきのあるブラック」で表現した。ラインアップは、ベースメイクとカラーアイテム全55品。天然由来成分にこだわりながら、プロの技術を搭載し、洗練されたモード感のある絶妙な艶、色、発色の強弱と質感を実現。全ての女性に溶け込み、その人だけのパーソナルブランドに七変化できるものが完成した。こねたモード感を作りながらも使うごとに思わず自分を愛でたくなるような、気持ちを高めることができるブランドにできればと願っている。

Ingredients



ブルケネチア
ボルピリス種子油



スミノミザクラ



アルガニアス
ピノサ核油



クランベリー



ローズヒップ

抗炎症作用やビタミンCを含むローズヒップや、抗酸化やミネラルを含有するクランベリー、保湿を高めるスミノミザクラなど5つの、抗酸化、エイジングケア効果の高い植物美容成分にこだわりながら、妥協のないテクスチャーと仕上がりを実現。現代女性が求めるストレスフリーもかなえる。



PHOTO BY KOICHI MAI

Color & Texture

無造作につけるだけでメイクが 決まるフォーミュラを追求

菊地美香子／Celvokeクリエイティブアドバイザー



PROFILE: 全日本理容美容選手権東北大会優勝。全日本ヘアフォトコンテスト準優勝などを受賞。ファッションカタログ、広告をメインに活動し、石原さとみなど女優、モデルからのリクエストも多数。トロン所属

メイクアップ製品において、プロのメイクアップアーティストがメイクアイテムを使いこなせるのは当たり前だが、一般の人がテクニクなしにつけられる質感が、実は一番大切。多くの女性から「好きな色のアイシャドウを使いこなせない」という悩みをこれまで何度となく聞いてきたことから、この「セルヴォーク」では、無造作につけても肌になじむ発色と質感のフォーミュラを追求した。キーアイテムのリキッドファンデーションは、最も調子が良いと感じるときの肌をひと塗りで実現し、クリーミーなブラックのアイシャドウは、アイカラーやリップの上から重ねると、ニュアンスのあるスモーキーカラーをかなえる。アイブロウパウダーは、繊細なパール入りでアイシャドウにも使え、アイブロウペンシルは色の付き方と硬さにこだわりアイライナーとしても活躍する。カテゴリーにとらわれず、使う人が使いたいように楽しめる「セルヴォーク」で、メイクを楽しんでほしい。

Celvoke Line

細さと筆の安定感にこだわって制作したペンシル形状のアイライナーは、テクニクなしで繊細から大胆まで自由自在にラインが描ける。仕上りの美しさが持続するラ

スティング効果も兼ね備えているのも特徴だ。目尻をV字に書き上げる「セルヴォークライン」で、意思のある目元を演出できる。



2017 S/S Limited Item

ナチュラル発想のモードカラーを目元に演出できるアイバレット2017年春夏限定色。今季のテーマは「Allure Sun(魅力的な太陽)」。エネルギーの象徴である太陽が、大地や水辺に映し出されたときをイメージしている。サンライズ／サンセットを、01ピンク



今シーズンのベストなモードカラーでシーズンメイクをスマートにするアイバレット「セルヴォーク ヴォランタリー アイバレット」(全2色)各6200円



01

Key Items

エフォートレスな仕上がりを実現

セルヴォーク インテントスキシ リキッドファンデーション

シリコンフリーながら、するすると心地よく肌の上で軽やかにのび広がり、美肌に染めるようなリキッドファンデーション。独自のインテントパールコンプレックスが、その人が持つ素肌感を生かしつつ欠点をカバー。エフォートレスな仕上がりかなえる。(全5色)各4800円。

透明感と奥ゆきがかなう黒のアイシャドウ

セルヴォーク ヴォランタリー アイズ 00

艶感のある質感と陰影を操る単色アイシャドウの中でもキーとなる黒いパールを採用した「00」は、透明感のある仕上がり奥行きが作れる。唯一のクリームタイプで、しっとりとしたテクスチャー。アイシャドウ、チーク、リップを重ねることでニュアンススモーキーカラーが自由自在に。(全24色)各2000円。

Make-Up Artist's Interview

“ナチュラルコスメの スタンダード化に期待”

イガリシノブ／ヘアメイクアップアーティスト

私が考える「奥行きのある女性」に似合うメイクは、目力を60％ぐらいに抑え、肌感や唇で表現するメイク。そんなメイクに「セルヴォーク」はぴったり。色に深みがあり、身を引き締めてくれるようなカラー展開まで、バリエーションが楽しめるところがすごい。日常使いにおすすめるとしたら、ピンクとブラックのアイシャドウを重ね、深みのあるリップをオン。見た目はロックだけど、乙女な心を秘めている女子なイメージができ上がると思う。今後、期待するのはズバリ、ナチュラルコスメのスタンダード化!ナチュラルだからこそできる強さや底力を見せてほしい。



PROFILE: ビューティリアム所属。アーティストや女優など数々のファッションアイコンを手掛ける。17年か「BEAUTRINIUM ACADEMY」でメイク講師を担当

“今まさに、求めている カラーとテクスチャー”

耕万理子／メイクアップアーティスト

こねたモード感と、使いやすさを兼ね備えた全く新しいタイプのナチュラルコスメ。テクニクいらずで繊細なイメージに仕上がる。ベースアイテムはどれも肌なじみが良く、今まさに市場で求めているテクスチャー。特にリキッドファンデーションは潤いがあるで薄付きな仕上がりで、2017年春夏トレンドともマッチする。キーアイテムのブラックのクリームシャドウは、目元やリップのベースとして、重ねて使っても簡単にニュアンスが出せる優れたもの。アーティスト発想のアイテムがそろうので、将来コレクションのバックステージでも活躍できるのでは。



PROFILE: SIGNO所属。外資系化粧品ブランドにてシニアアーティストとして活動したのちに、2013年に独立。ファッション、広告撮影、舞台など幅広く活躍中

“攻め色もあって トレンドメイクにもおすすめ”

中野明海／ヘアメイクアップアーティスト

ブレない自分を持ちながら、引くこともできるスマートな女性かたどり着くコスメという印象。撮影現場で使ってみて、「セルヴォーク」のコスメを並べると、感度の高い女優さんやスタイリストさんが、必ず興味を示してくれる。ナチュラル成分にこだわったアイテムは、優しい色やアースカラーが多いが、トレンド感のある攻めのメイクに挑戦したい人も楽しめるカラーバリエーションにも驚き。その上、スタンダード感もしっかり抑えているから、定番になりそう。フェイスパウダーはキメが細かく、小じわが目立たなくなるので、年代問わず使えるアイテムだと思う。



PROFILE: 本来の可愛さを引き出すメイクで、多くの女優やアーティストを担当。「KOBAKO ホットアイラッシュカラー」など化粧品やツールの開発も手がける

“リキッドファンデは 最高の肌ができあがる”

高橋里帆／ヘアメイクアップアーティスト

リキッドファンデーションは、今までに触ったことのない、新触感。艶に特化し過ぎると伸びが良すぎてカバー力にかけれるけど、艶もカバー力も本当にバランスがよいと思う。これを使えば、調子が良かった日の肌を超えた最高の肌ができあがる。しかも、テクニクがなくても、つけたそばから勝手になじんでくれるから、誰が使っても自分のものにできるからすごい。がんばってメイクしている感じがなく、その人になじんでいけば、こねて見え、それが奥行きとなるはず。カラーアイテムは、ナチュラルコスメにはない攻めの色がたくさんあるから、コスメ好きの女性にもたまらないラインアップだと思う!



PROFILE: Three PEACE所属。ナチュラルからフェミニンまでさまざまなスタイルを獲得する。明るいキャラクターで女優やタレント、モデルからの支持も高い

“次世代ナチュラルコスメとして 市場をリードしていく存在”

河本裕介／ヘアメイクアップアーティスト

これまでナチュラルコスメは発色やトレンド感が弱いという意見があったが、「セルヴォーク」は色のバリエーションが豊富で、メイクアップアーティストのこだわりを随所に感じる。特にアイブロウパウダーはピンクの色味が絶妙。製品やパッケージからブランドの世界観が明確に伝わり、いわゆる「かわいい」ではない女性像の捉え方にも共感できる。自然素材を使用し、どんな肌質の人でも安心して使える製品が増えてくるのはうれしいし、もっと世の中に広がってほしいというのが一番の思い。今後、ナチュラルコスメ市場をどう切り開いていくかに期待している。



PROFILE: 1975年生まれ。ナチュラルな中に色気を漂わせる独特のメイクセンスに定評がある。ミネラルコスメブランド「エトヴォス」などのコラボレーションも好評

“使う人がハッピーになる 心地よいブランド”

信沢Hitoshi／ヘアメイクアップアーティスト

「セルヴォーク」を使ったとき、太眉とか赤リップとか、メイクが主張するのではなく、その人の日常に溶け込むアイテムぞろいだなと思った。モードにもカジュアルにも転べるので、リアルにきれいな人、どこに行っても恥ずかしくない女になれるはず。また、リキッドファンデーションや下地は、自然な香りがふわっと漂い、旅をしたときの心地いい思い出がよみがえるような感覚で、使う人をハッピーにするなど実感。アイシャドウのなじみも抜群で、一見パールがキラッとしそうな色も、シックな色と透け感でぬれたような艶に。今後も、ナチュラルとテクノロジーのバランスの良さを保ち、突き進んでほしい!



PROFILE: 「ピーコ」の受験でモデルやスタッフから殺される存在。モデルの平子理沙や長谷川潤など、数々の人気モデルを長年におたって担当する